



3学期が始まって2週間ほどがすぎました。全国各地でインフルエンザの流行がみられ、学級閉鎖している学校もあるようです。まだ大きく流行している状況ではありませんが、罹患している児童もみられます。学校でも手洗いやうがい、換気などに気をつけて日々の生活をおくっています。ご家庭でも十分気を付けて行くようにご指導ください。まだまだ寒い日が続いていく中で寒さに負けずにご過ごしていただきたいと思います。

もっと安全への意識をもった登下校を！

3学期のスタートとともに、保護者の皆様には朝の登校指導を行っていただきました。横断歩道や車の交通量の多い所などに立ち、子どもたちを見守り、安全に登校するように声をかけていただきました。登校の様子や班での子どもたちの様子などを知る機会になったのではないのでしょうか。また、子どもたちも保護者の方々に見守られて安心して登校しているようでした。



日頃から指導していただいている保護者の方もいらっしゃいます。そして、毎日立って子どもたちの安全を見守ってくださっている安全監視員の皆様もいらっしゃいます。子どもたちにやさしくあいさつや声をかけてくださったり、一人で歩いていたり、遅くなったりしている子どもと、いっしょに学校まで歩いて来てくださる方もいらっしゃいます。登校だけではなく下校の際にも見守りをいただいています。子どもたちが安全に登下校できているのも皆様のおかげだと感謝しています。



ただ、「上級生が走っているのだから下級生が遅れる」「登下校中に子どもどうしでトラブルを起こしている」「声をかけられたり、指導されたりしても注意を聞かない」などの声が聞かれました。また、2学期には下校の際に、横断歩道以外の所を飛び出して横断して、車やバイクなどと接触しそうな危険な場面もみられることがありました。このような状況もあり、学校でも登下校の指導や先生方による下校指導などを繰り返して行っているところです。

お忙しい中に立番指導をしていただき、本当にありがとうございました。今後も学校では登下校について指導していきます。ご家庭でも登下校の安全のことを話し合ったり、登校の時に玄関で見送ったりと、ご家庭でもご指導いただければと思います。そして、子どもたちの安全への意識を高めていくように学校で、家庭で、地域で取り組んでいくことが大切です。

さらに、子どもたちが見守ってくださっている安全監視員の皆様や保護者の皆様への感謝の気持ちを持ち、安全に登下校するようになっていただきたいと思います。

これからもご指導よろしくお願いします。

日向市PTA研究大会 ～子どもといっしょに笑顔を～

1月18日（土）に日向市PTA研究大会がありました。

駅前あくがれ広場での「中高生の吹奏楽演奏」「旭化成や高校などの紹介」「緊急車両や工事車両などの展示・試乗体験」「防災に関する活動」などのブースやコーナーで体験したり、楽しんだりする内容がありました。そして、「新しい学校のルールメイキング」として中学生・先生・保護者・地域の方などでディスカッションする企画もありました。これまでと異なり、親子で、あるいは、子どもだけで活動したり、考えたりできる内容が多くありました。特に、ディスカッションでは、日向市内の各中学校の代表生徒が校則について学校での取組や自分の考えを積極的に述べていて、多くの意見を聞くことができました。それ以上に、中学生が校則について考えていくを通して、学校生活をより充実していこうとする姿を感じることができました。今後子どもたちの声に耳を傾け、学校だけではなく、家庭・地域も含めた取組が大切です。



また、本大会でPTA活動について考えられる機会になり、本校でもPTA活動の在り方を検討していくようにして、充実させられればと思います。

また、少年団の紹介もあり、日向スラッガーズに所属している子どもたちも活動の様子を伝えていました。大会では、本校役員の方も運営委員としてご尽力されていきました。本大会に関わられた皆様に感謝申し上げます。

6年生の名言、そして自分の思いを

- 『努力は決して裏切らない』(6年2組 那須碧澄) ※ 1月20日(月)発表の4名
- 『天才とは1%のひらめきと99%の努力である』(6年2組 田中輝)
- 『小さいことを積み重ねることがとんでもないところ(目標)へ行くための道』(6年2組 仁田柚穂)
- 『みんな敵がいい 敵が無いとことがきぬ』(6年2組 中原丈太郎)

給食の時間の放送で6年生は『知ってほしい この名言』を発表しています。その名言をもとに自分がどのように行動していくのかをしっかりと捉え、

中学校にむけての思いを發表しています。また、その思いとともに財小への思いを下級生に伝えている人もいます。家族から言われた名言、本で知った名言などいろいろですが、この名言を忘れずに行動していただきたいと思います。